

「ビフォーアフター写真」については、a)通常必要とされる治療内容、b)費用、c)治療等の主なリスク、d)副作用等に関する事項…など詳細な情報を、「ケースそれぞれに」付すことで広告が認められる場合もある点に留意が必要。

例えば、複数のビフォーアフター写真を掲載し「治療費は〇円から」などと記載することは認められないが、1つ1つの症例についてビフォーアフター写真を付け、それぞれについて「このケースでは〇円の治療費があり、治療期間はどの程度、XXXの副作用が起こることがあります」などと詳説することで、患者がメリット・デメリットを把握できるため、広告可能となる。

1. 広告が禁止される事例

(13) 複数のビフォーアフター写真 (省令禁止事項)

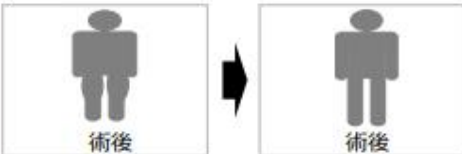
複数のビフォーアフター写真について、まとめて詳細な説明が付された表現

複数のビフォーアフター写真について、術前又は術後の写真に通常必要とされる治療内容、費用等に関する事項や、治療等の主なリスク、副作用等に関する事項等の詳細な情報を、まとめて付しているものは、広告することはできない。

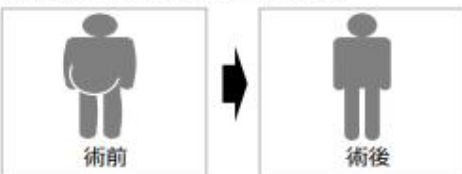
事例 複数の治療方法の写真をまとめて説明

症例紹介

症例① 足の脂肪吸引 (ハイザー脂肪吸引法)



症例② 腹部の脂肪吸引 (チューメセント法)



症例③ ……

解説
複数の治療方法の写真に対して説明をまとめて記載している

治療内容	局所麻酔を行い、皮膚を切開し、脂肪を柔らかくした後に、脂肪吸引を行いました。
治療期間・回数	1-2回
費用	150,000円~200,000円
リスク・副作用	内出血、術後の腫れ、痛み

解説
それぞれの写真に対して術前又は術後の写真に通常必要とされる治療内容、費用等に関する事項や、治療等の主なリスク、副作用等に関する事項等の詳細な情報を付す

複数のビフォーアフター写真の表現に係る改善例

ビフォーアフター写真の掲載に必要な、術前又は術後の写真に通常必要とされる治療内容、費用等に関する事項や、治療等の主なリスク、副作用等に関する事項等の詳細な情報を、それぞれに付すことにより広告が可能となる。
※以下は一例であり、広告の具体的な内容に応じて、実際のウェブサイトにおける全体の構成や医学的状況等を考慮して、誤認を与えない対応が必要である。

https://www.abcc.jp/bjcc.com

症例紹介

症例① 20代男性。足の脂肪吸引の手術。

治療内容	皮下脂肪内に大量の局所麻酔薬を注射します (チューメセント法)。皮膚の複数個所に吸引管が入る程度の切開 (数ミリ程度) をして皮下脂肪を吸引します。傷は糸やテープなどで閉鎖して治療部位は包帯やガーメント (腹巻やコルセットを含む) で圧迫固定します。
治療期間・回数	半日 (日帰り)
費用	200,000円~300,000円
リスク・副作用	治療部位の皮下出血や腫れ、一時的なしびれなどが起こることがあります。ごく稀に大出血や腹膜穿孔が起こります。脂肪塞栓や重篤な感染症 (腹膜炎) で入院を要し生命の危機に及んだという症例の報告もあります。

症例② 40代女性。下腹部の超音波併用脂肪吸引

治療内容	皮下脂肪内に大量の局所麻酔薬を注射します (チューメセント法)。皮膚の複数個所に吸引管が入る程度の切開 (数ミリ程度) をしてから超音波で皮下脂肪に熱を与え柔らかくして、皮下脂肪を吸引しやすくしてから吸引します。傷は糸やテープなどで閉鎖して治療部位は包帯やガーメント (腹巻やコルセットを含む) で圧迫固定します。
治療期間・回数	半日 (日帰り)
費用	500,000円~800,000円
リスク・副作用	治療部位の皮下出血や腫れ、一時的なしびれなどが起こることがありますが、超音波を使用しない場合よりこれらのリスクが低減することが期待できます。超音波の熱による熱傷 (やけど) の可能性があります。大出血や脂肪塞栓などの生命の危機に及ぶリスクについては超音波を使用しない方法との優劣について結論は出ていません。